

新潟県精神保健福祉センターにおける 高次脳機能障害者の日中活動支援について

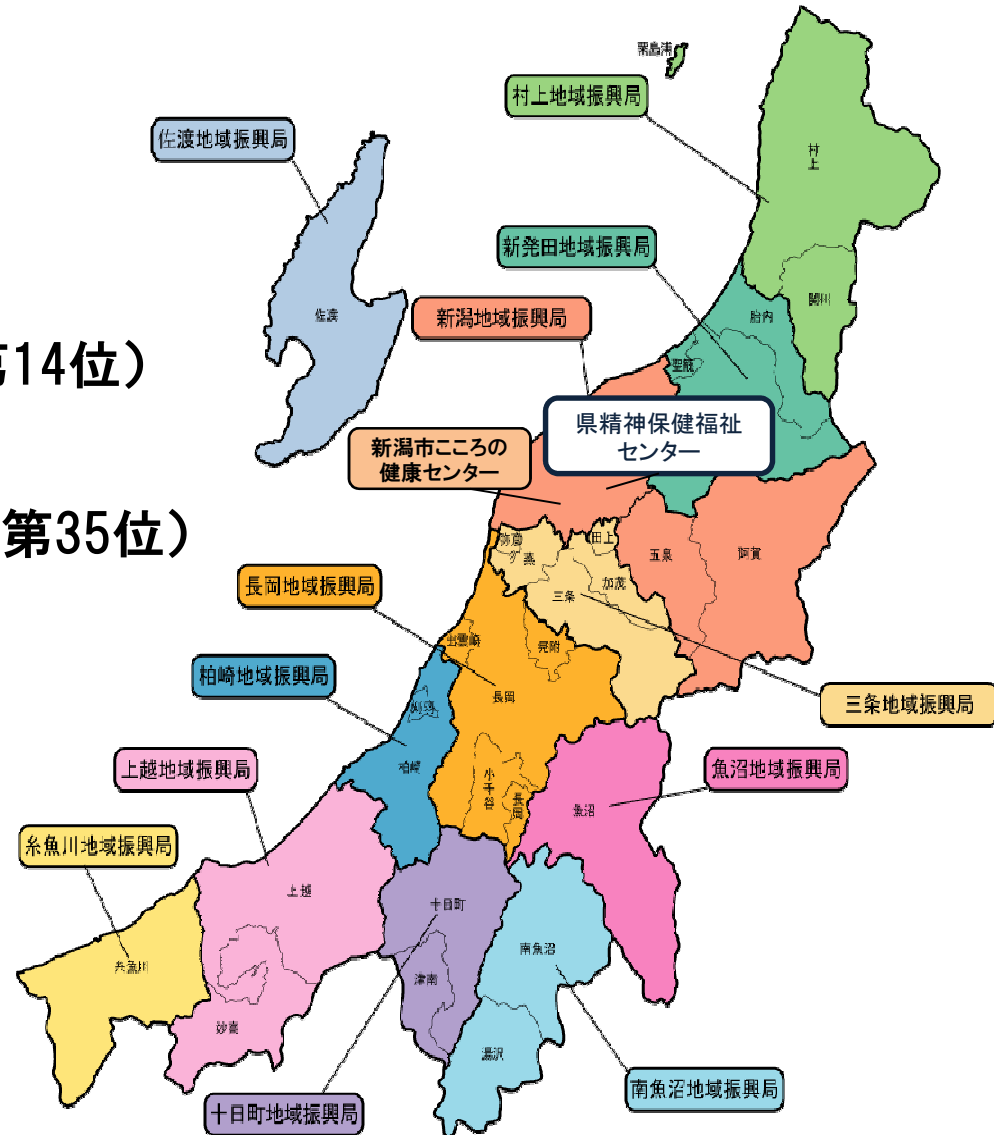
平成24年6月26日

新潟県高次脳機能障害相談支援センター
相談支援コーディネーター 山崎節子


新潟県事業推進計画

【地誌条件】

- 面積：12,584km²(全国第5位)
- 総人口：2,348,529人(全国第14位)
(推計人口、平成24年4月1日)
- 人口密度：187人/km²(全国第35位)
- 高齢化率：26.4% (平成23年度)
cf) 全国 23.4%
- 日本有数の豪雪地
- 過疎化



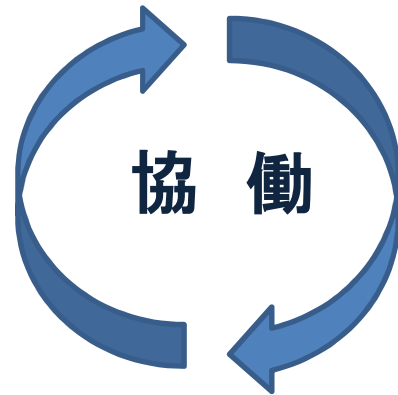
事業推進計画（2）

- 平成17年 職員向け研修開始
- 平成18年 <アンケート調査実施>
患者発生数の推定/サービス提供の状況の把握
- 平成19年 普及啓発の開始
- 平成20年 <アンケート調査実施>
サービス提供状況の把握
高次脳機能障害支援体制整備検討委員会
高次脳機能障害家族支援モデル事業
- 平成22年4月 県精神保健福祉センター内に高次脳機能障害
相談支援センターを開設
- 平成23年1月 相談支援コーディネーター配置 

事業推進計画 (3)

【特 徴】

○行 政—県障害福祉課



県精神保健福祉センター

県地域振興局 指導・助言

市町村役場



普及・啓発・介入

○地 域—家族会


医療機関、リハビリ機関、施設等
教育機関、企業

【参考】

**県 障害福祉課
(県 自立支援協議会)**
○ 県内の支援体制整備の推進

**高次脳機能障害相談支援センター
(新潟県精神保健福祉センター内)**
* 県内の支援を統括 *

**高次脳機能障害支援拠点
運営委員会**
○ 県内の支援体制整備に関する提言
○ 支援拠点のバックアップ

支援体制整備  コーディネーター

普及啓発 **スーパーヴァイズ**

- 医療機関、市町村、福祉サービス事業所等、関係機関に対する事業の周知
- 地域資源に関する情報集約と発信
- 一般県民に対する普及啓発
- 関係職員研修
- 地域での支援に対する助言・指導

バックアップ

医療機関



原因疾患に対する急性期、回復期の治療・リハビリ

Dr、ST、OT、MSW等

脳血管疾患リハ医療機関

- 認知リハビリテーション
- 代償手段の習得
- 環境調整の指導

精神科医療機関

市区町村


児童・障害者相談センター

連携

連携

地域移行支援

当事者・家族会

地域毎の支援拠点 (13ヶ所)  相談員

個別支援のコーディネート

- 関係機関の役割分担
- キーパーソンの設定

相談支援

地域の支援体制整備

相談支援事業所

障害福祉サービス事業所

教育、就労支援機関

地域での生活



高次脳機能障害に対する適切な支援を受けながら、当事者が主体的に生活を送る。

日中活動支援

本人支援：相談支援、就労支援、
(ケア・マネジメント)

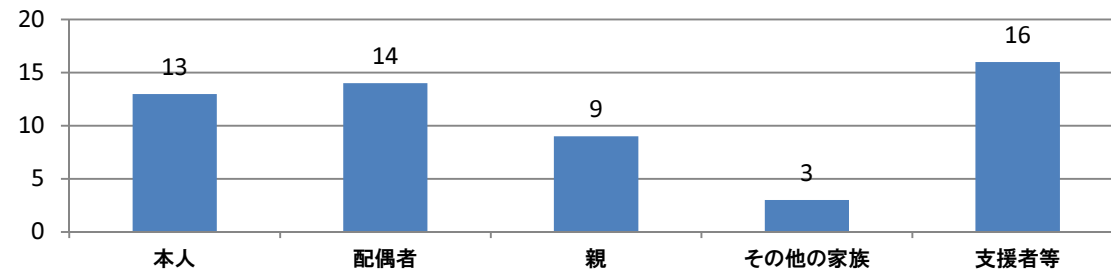
家族支援：相談支援、家族のつどい



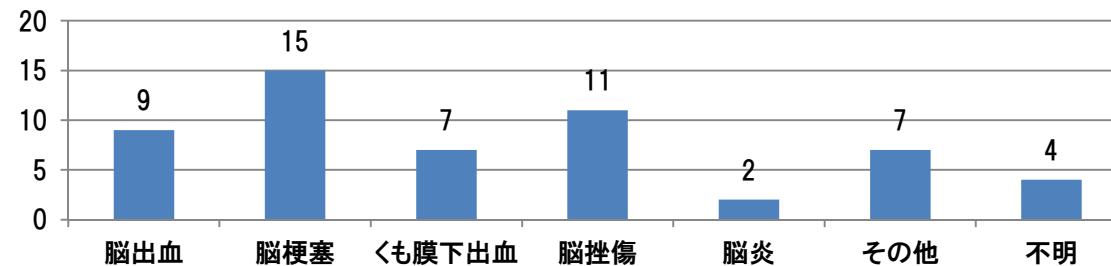
本人/家族支援

●相談支援(平成23年度センター実績:N=55)

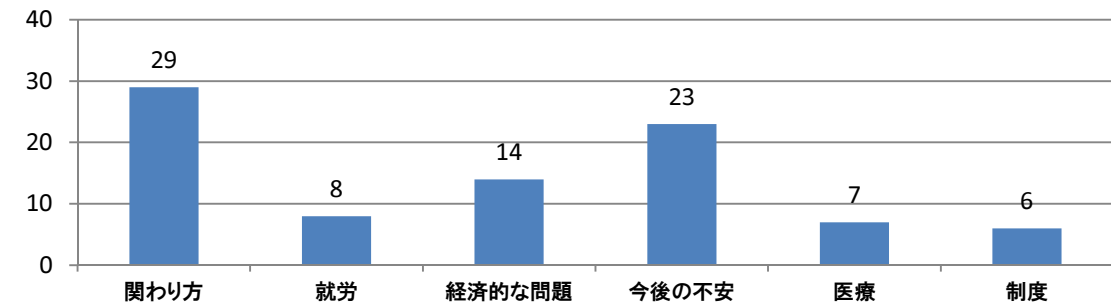
相談者の内訳



原因疾患



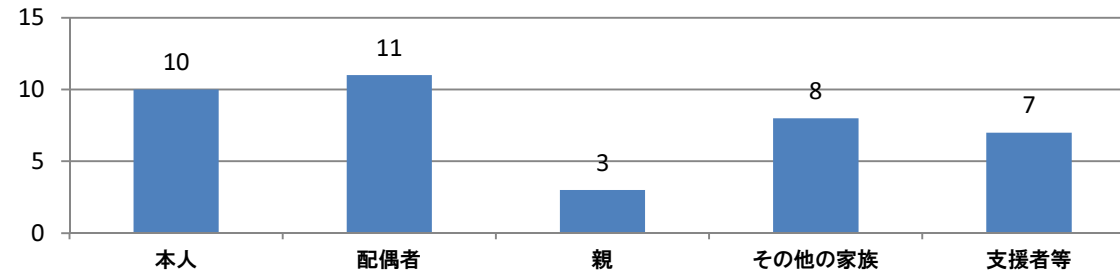
主な相談内容



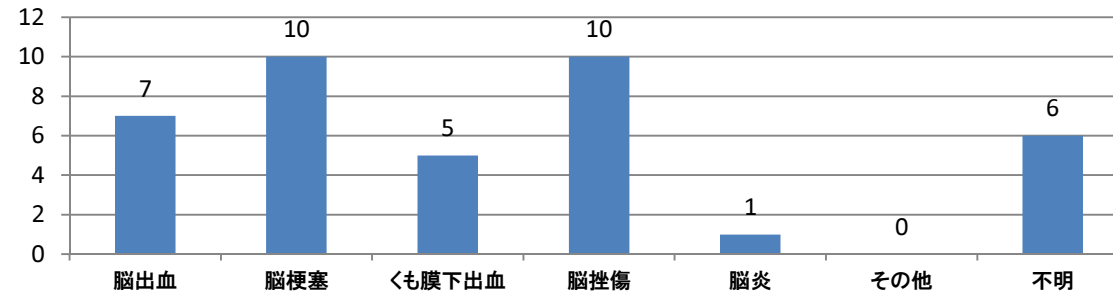
本人/家族支援

●相談支援(平成23年度県内支援拠点実績:n=39(延べ))

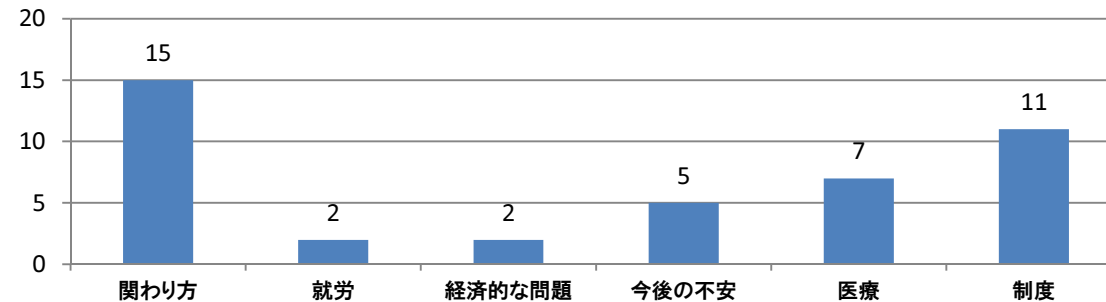
相談者の内訳



原因疾患



主な相談内容



本人支援 (1)

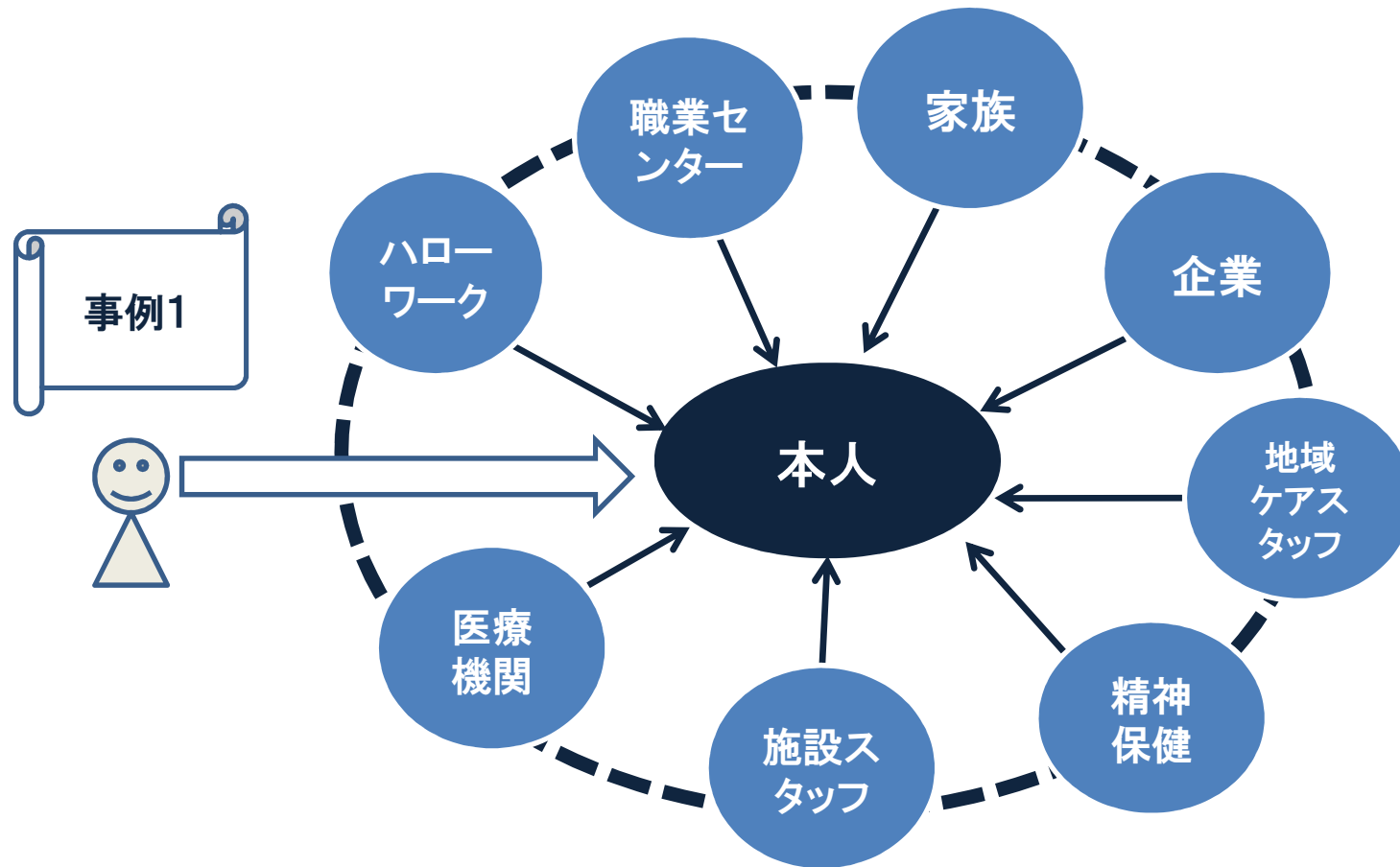
●当事者主体

本人(当事者)からの依頼
に基づき、支援者と協働し、
社会参画や社会復帰を
促す



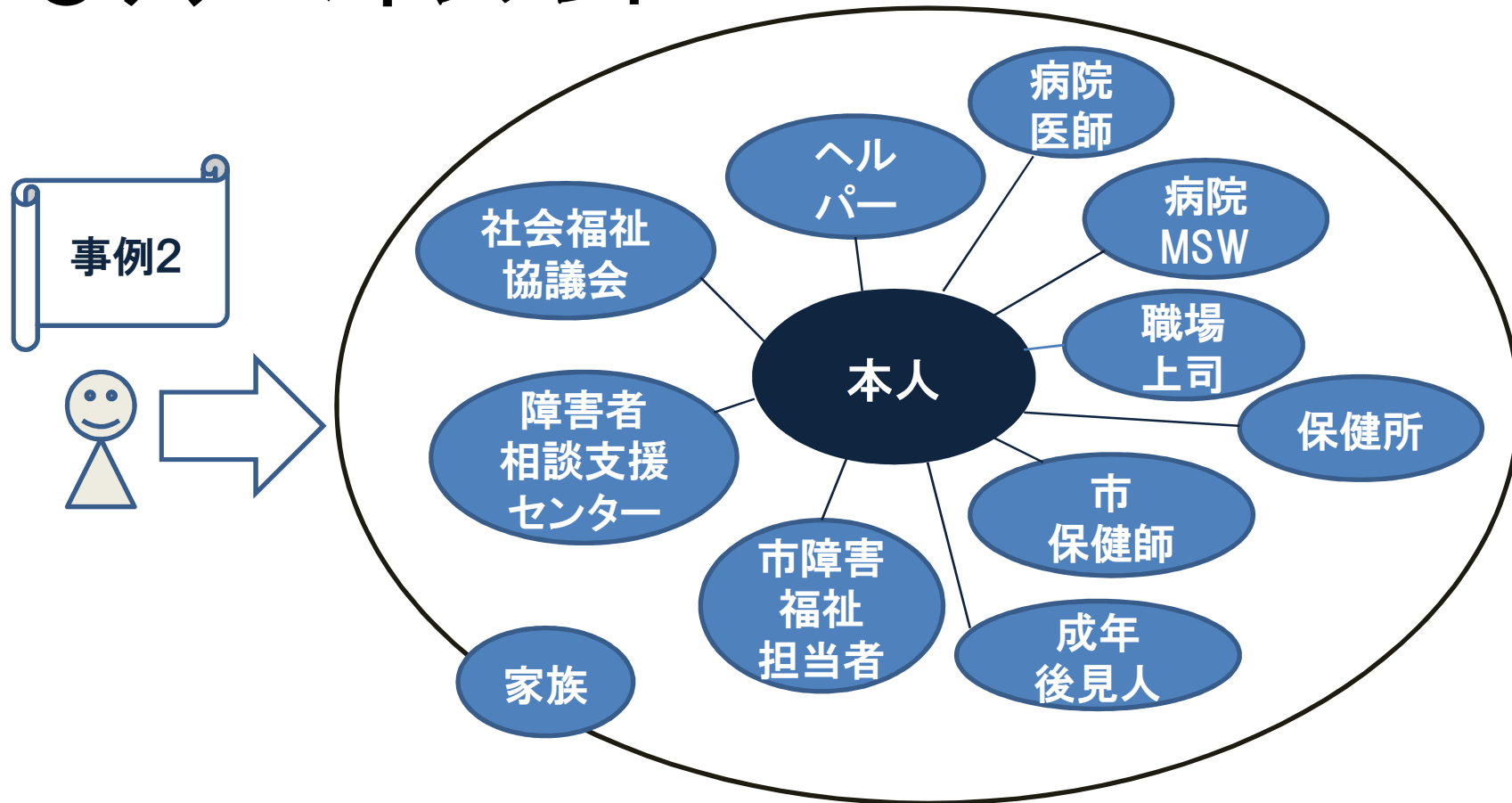
本人支援 (2)

●就労支援(就労継続/就職)



本人支援 (3)

●ケア・マネジメント



家族支援 (1)

家族教室・つどいの開催方式と回数(回)

	親	配偶者
平成20年度	4	
平成21年度	5	
平成22年度	6	—
平成23年度	4	5
合計	24	

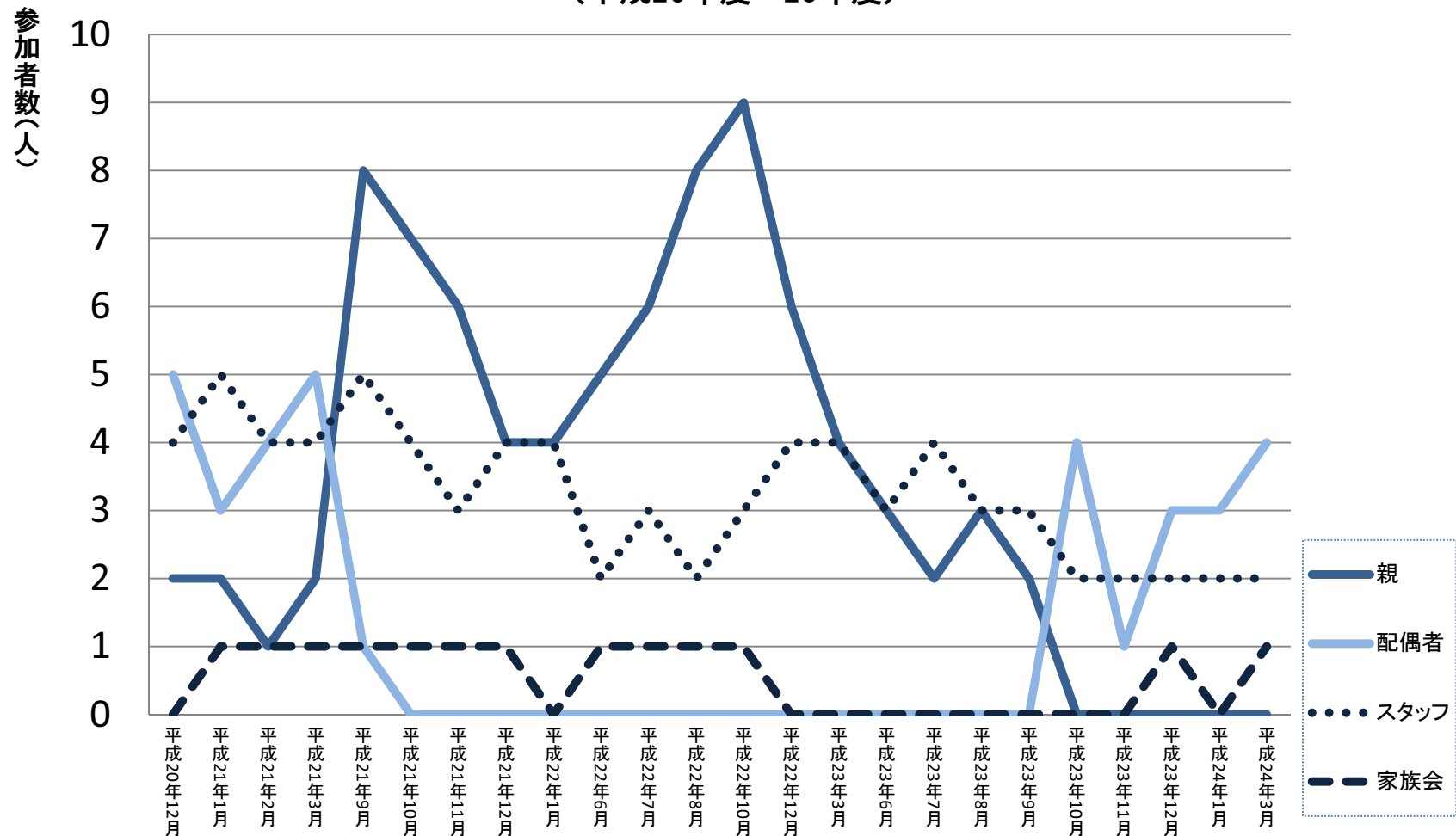
参加者の内訳と人数 (人)

	親	配偶者	スタッフ	家族会
参加者数(延べ)	84	33	78	13
	117		91	
合計	208			

家族支援 (2)

家族教室・つどいの参加者数・関係者数の推移

(平成20年度～23年度)



家族支援 (3)

●つどいの開催

家族支援モデル事業を継承し、ピア・サポート形成を目的として家族会と共催で実施

平成23年度「親のつどい」、「配偶者のつどい」

→平成24年度「家族のつどい」に統合

(参考)長岡:家族教室(平成23年度)

→家族のつどい(平成24年度)

魚沼:家族教室(平成24年度～)

家族支援（4）

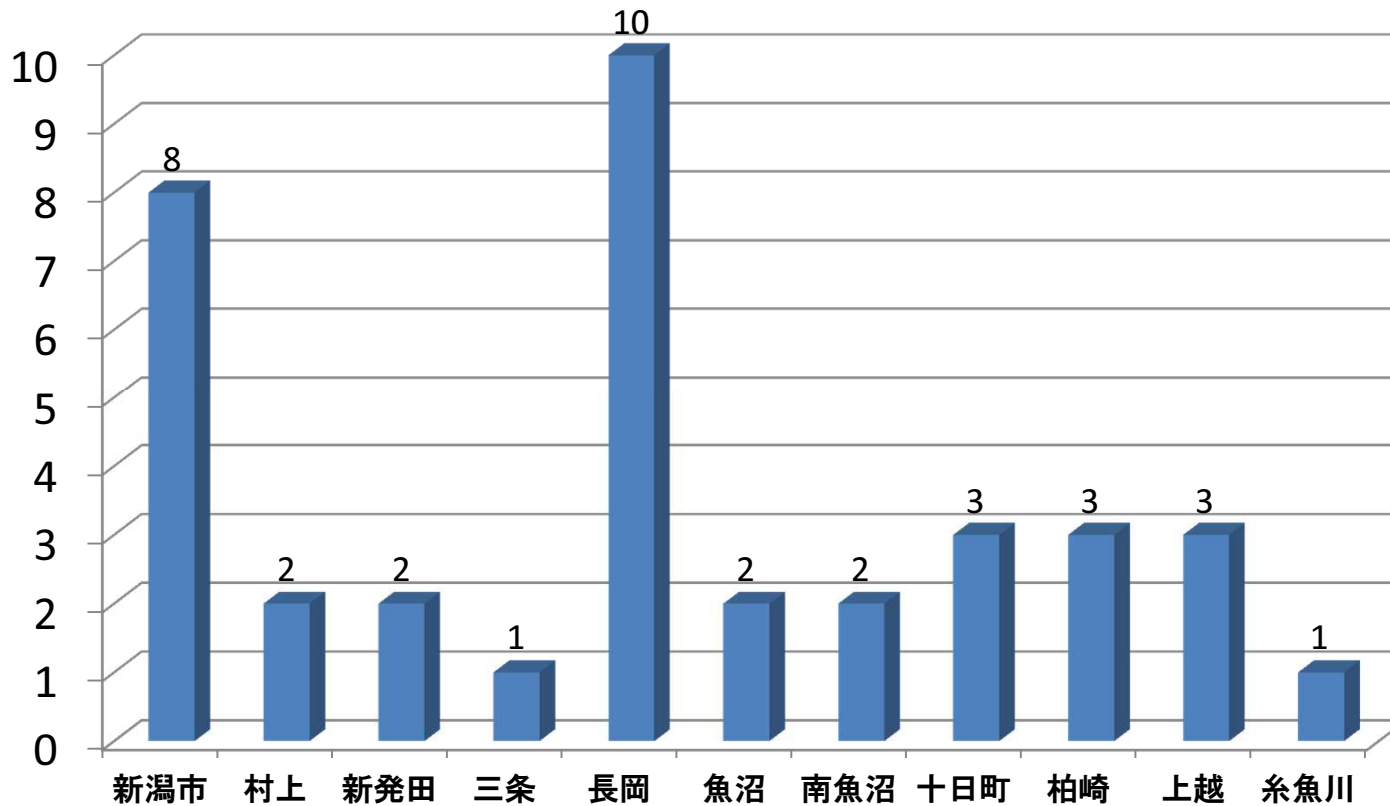
- 平成24年度「家族のつどい」の改正点
 - 気持ちシートの活用
 - 問題解決志向アプローチを導入
 - 終了後にフリートークの場として開放

よかったこと、こまったこと、はらがたったことを記入してください。



事業の進捗状況 (1)

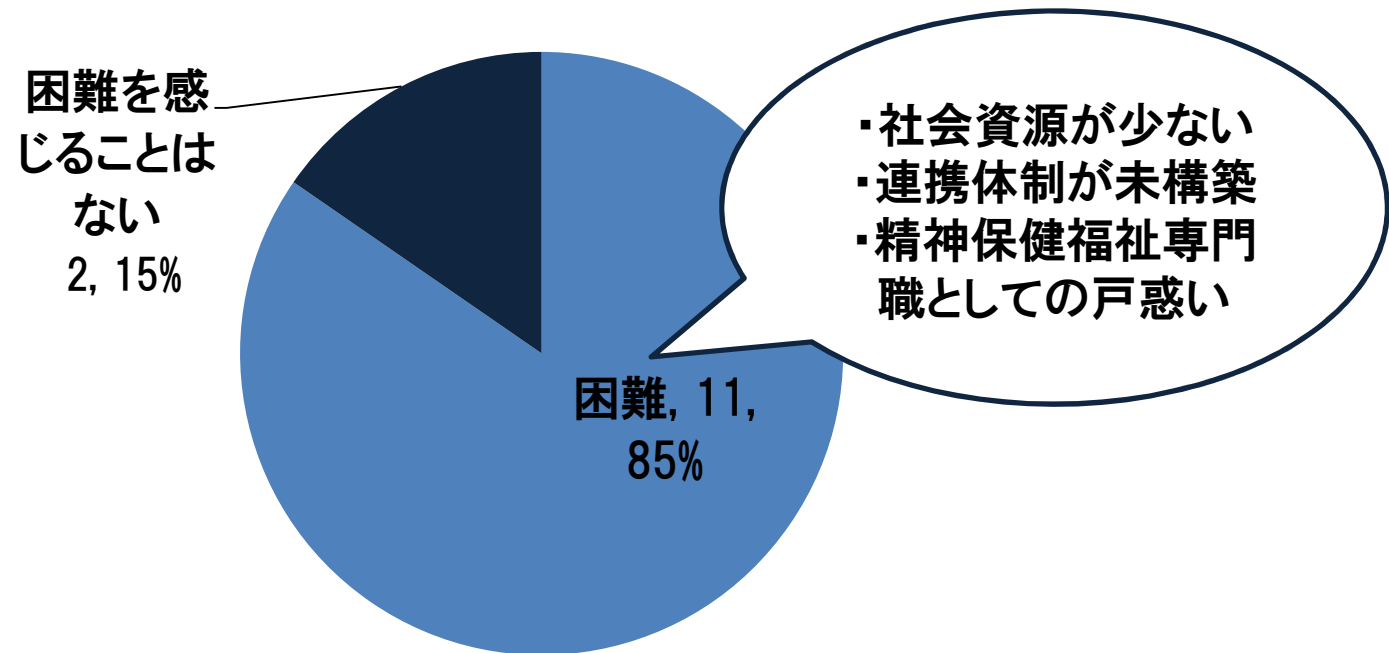
● 県内支援拠点における相談支援の状況



(平成23年度県内支援拠点実績から)

事業の進捗状況 (2)

● 県内支援拠点における高次脳機能障害に係る相談対応についての認識



(平成24年度県内支援拠点職員研修会アンケート結果から)

課題と展望

- ◆障害福祉行政(精神保健福祉センター)主体での支援体制構築に伴う特有の困難さ
- ◆日常生活水準への支援における質の向上と平等性の担保
- ◆地域で“お互いが生きる”ことを支えるしくみの端緒となれば…という希望